

第62回

日本伝統工芸展

The 62nd Japan Traditional Kōgei - Art Crafts - Exhibition

陶芸／染織／漆芸／金工／木竹工／人形／諸工芸



銀泥彩磁鉢 井戸川 豊 高松宮記念賞

世界に誇る日本の工芸 人間国宝から新進気鋭の若手まで

平成28年2月24日(水)～3月13日(日) 会期中無休

開館時間／午前9時～午後5時(金曜日は午後7時まで) ※2月24日は午前10時開場 ※入館は閉館の30分前まで
主催：広島県立美術館／NHK広島放送局／朝日新聞社／(公社)日本工芸会 平成27年度文化庁補助事業



乾漆線文合子 水口 咲 朝日新聞社賞



桐彫彩色「目覚めの刻」井上揚彰 日本工芸会会長賞



硝子切子花器「清澄」 氣賀澤 雅人 日本工芸会奨励賞



櫻拭漆盛器「潮」 本間 潔 日本工芸会奨励賞



琉球紅人型着物「むらぶし」城間 榮市 日本工芸会新人賞



編込漆合器「ひびき」 家出 隆浩 文部科学大臣賞

入館料：一般 700円(500円)
高・大学生 400円(200円)

※中学生以下無料
※()内は前売・20名以上の団体料金
※前売券は広島県立美術館、広島市・呉市内の
主なプレイガイド、画材店・画廊、ゆめタウン、
フジなどで販売しています。
※学生券をお求めの際は学生証のご提示をお願い
します。
※身体障害者手帳、療育手
帳、精神障害者保健福祉
手帳及び戦傷病者手帳
の所持者と介助者(1名
まで)の当日料金は半額
です。手帳をご提示く
ださい。



名勝「前原園」とともに楽しむ アートの社
広島県立美術館
Hiroshima Prefectural Art Museum

第62回

日本伝統工芸展

陶芸／染織／漆芸／金工／
木竹工／人形／諸工芸

The 62nd Japan Traditional Kōgei -Art Crafts- Exhibition

世界に誇る日本の工芸 人間国宝から新進気鋭の若手まで

日本伝統工芸展は、日本の風土の中から生まれた世界に誇る工芸技術を、発展継承させることを目的に、昭和29年に創設されました。以来、その伝統をよく理解しながら一層技術を磨いて、今日の生活に即した新しいものを築き上げることを目標としています。第62回となる本展の広島展では、人間国宝(重要無形文化財保持者)から新進気鋭の若手まで、陶芸、染織、漆芸、金工、木竹工、人形、諸工芸の7部門にわたり、日本を代表する作家の作品323点を展示します。なお、広島県からは14名の作家の作品が入選しています。

In 1954 this annual exhibition "Japan Traditional Kōgei -Art Crafts- Exhibition" was established for the development and inheritance of Japanese art crafts traditions. Since then the aim of this exhibition has been the creation of new types of works suitable to the modern lifestyle while keeping traditions and improving techniques. The 62nd Exhibition at our museum, there are 323 pieces exhibited, classified into seven categories of ceramics, textiles, urushi (lacquer) work, metalwork, woodwork and bamboo work, dolls, and other work. These works were made by a broad spectrum of craftspeople from Living National Treasures (Holders of Important Intangible Cultural Property) to young and energetic artists who represent the Japanese art crafts world. Among these, there are 14 artists from Hiroshima Prefecture.

- ① 栃拭漆盛鉢 細川 毅 東京都知事賞
- ② 緑釉花器 鈴木 徹 NHK会長賞
- ③ 紬織着物「仲秋」 村上 良子 日本工芸会保持者賞
- ④ 幾何紋銀彩組鉢 多田 幸史 日本工芸会新人賞
- ⑤ 紙胎蒔繪背風盛器 安藤 源一郎 日本工芸会新人賞
- ⑥ 花流水釜 角谷 勇圭 日本工芸会奨励賞



- JR広島駅より約1km ● 広島城より約400m
- 市内電車「八丁堀」で乗り換え「白鳥線」縮景園前下車約20m
- ひろしまめいぶる〜ぶバス「県立美術館前」下車

名勝「縮景園」とともに歩む アートの村
広島県立美術館
 Hiroshima Prefectural Art Museum
 〒730-0014 広島市中区上織町2-22
 TEL.082-221-6246 FAX.082-223-1444 http://www.hpam.jp/



①



②



③



④



⑤



⑥

関連行事

1 第62回展記念講演会&作品解説会(広島県立美術館友の会共催)

日時：平成28年2月28日(日) 10:30～12:00(開場10:00)
 講師：福井 禎
 (染織(倉吉絨)作家、日本工芸会正会員、鳥取県無形文化財保持者)

テーマ：「藍染木綿絨／倉吉絨の魅力～その伝統と創作～」

場所：地階講堂

※ 聴講無料、定員200名(当日先着順。講演に続き、展示会場で作品解説会を予定しています。作品解説会に参加する場合は入館券が必要です。)

2 ギャラリートーク

一県内及び近県在住の日本工芸会正会員(出品作家)による分野別作品解説会

日時・講師(分野)

2月27日(土) 11:00～部谷きよみ(人形) 13:30～松岡裕治(木工)

2月28日(日) 13:30～井戸川豊(陶芸)

3月 5日(土) 11:00～田代昭夫(漆芸)

3月 6日(日) 11:00～粟根仁志(七宝) 13:30～小林良日(陶芸)

3月12日(土) 11:00～菅坂安子(七宝) 13:30～佐故龍平(金工)

3月13日(日) 11:00～金城一國斎(漆芸) 13:30～今田拓志(陶芸)

一担当学芸員による展示全般に関する見所解説

2月26日(金) 11:00～、

3月 4日(金) 11:00～、3月11日(金) 11:00～

所要時間：約40分

場所：3階企画展示室

※入館券が必要です。申込不要。

3 ワークショップ

「みんなでけん玉を楽しみ、木工芸の伝統を学ぼう！」

広島県廿日市市はけん玉発祥の地。このワークショップでは正しいけん玉の技術指導を行うとともに、けん玉(ロクロ細工による木製玩具)をきっかけに宮島ロクロ細工など日本の優れた木工芸の伝統を学びます。

日時：3月5日(土) 13:30～15:30(受付開始13:00)

講師：今田弘武
 (公益社団法人日本けん玉協会西中国地区総支部長)

場所：地階講堂

参加料：無料

定員：100名(当日先着順。子ども達から大人の方まで)

4 日本酒イベント「アートと私の美味しい時間」

イタリア料理と日本酒をいただきながら、ゲストによる伝統工芸とお酒をめぐる対談を伺います。これに先立ち、担当学芸員の解説による伝統工芸展の鑑賞を行います。

日時/場所：2月26日(金)

[特別鑑賞会] 17:00～17:40 / 3階企画展示室

[トークショー] 18:30～20:45頃 /
 1階ゾーナイタリアイン・チェントロ

ゲスト：金城一國斎
 (本展出品作家(漆芸)、日本工芸会正会員、広島県無形文化財保持者)
 坂田賀昭(美和桜酒造有限会社社長)

参加料：5,000円(税込み)

定員：50名(事前申込が必要です。)

申込方法：お電話により、お名前、電話番号、参加人数などをお知らせください。先着順で受け付け、定員になり次第締め切ります。

(申込電話番号：広島県立美術館082-221-6246)

5 ウェブレポーター

本展のレポートをインターネットを通じて(HP、ブログ、ツイッター、フェイスブックなど)発信していただきます。

日時：2月26日(金) 17:00～18:30

受付：3階ロビー

場所：3階企画展示室(参加者は入館料無料)

各行事の所要時間は概ねの目安です。都合により行事内容に変更が生じる場合があります。最新の情報は当館ホームページでご確認ください。

【割引引換券】第62回日本伝統工芸展
 本券で当日料金より100円割引・1枚1名様・他の割引との併用はできません。

【割引引換券】第62回日本伝統工芸展
 本券で当日料金より100円割引・1枚1名様・他の割引との併用はできません。

【割引引換券】第62回日本伝統工芸展
 本券で当日料金より100円割引・1枚1名様・他の割引との併用はできません。